内容紹介

建設工事における海外と国内の「断絶」

吉越盛次／松原健太郎・河本　勇
赤木俊允

土木学会誌 第60巻第4号（*Annual* '75）
pp. 1～8
昭和50年4月（April, 1975）

昭和 49 年 10 月 9 日，広島工業大学において行われた 49 年度全国大会研究討論会の第 1 主題を当日の成果をふまえてとりまとめたのが本文である。近時，海外建設工事は増大する一方であるが，それに伴う苦痛も少なくはない。そこで本文は，以上に関連して「断絶の認識と克服」「コンサルタントから見た問題点」「コントラクターからの諸問題」「断絶にかけるべき橋とかける人」の諸件を取扱った。

重要文化財と土木

高橋　裕／青木楠男・石原藤次郎
佐藤重夫

土木学会誌 第60巻第4号（*Annual* '75）
pp. 9～15
昭和50年4月（April, 1975）

昭和 49 年 10 月 9 日，広島工業大学において行われた 49 年度全国大会研究討論会の第 2 主題を当日の成果をふまえてとりまとめたのが本文である。近時，貴重な土木関係の遺産が次々に失われてゆく中で，土木史学の重要性を述べたのが本文である。「まえがき」「研究討論テーマ」「重要文化財と土木」「九州の古石橋と重要文化財」「土木史学の成立を」「中国四国地方の土木文化財「討議と提案」「土木技術史関係の文化財リスト」の 7 編からなっている。

海洋構造物の現況と問題点

村上永一／秋山成興・佐竹　優
吉田　巌・村上憲司

土木学会誌 第60巻第4号（*Annual* '75）
pp. 17～24
昭和50年4月（Aprll, 1975）

昭和 49 年 10 月 9 日，広島工業大学において行われた 49 年度全国大会研究討論会の第 3 主題を当日の成果をふまえてとりまとめたのが本文である。近時，わが国にも各種の海洋構造物が姿をみせるようになったが，本文はこれらの構造物および施工例を簡明にとりまとめたものである。「はじめに」「設計上の問題点」「移動式海洋鋼構造物」「固定式海洋鋼構造物」「むすび」の 5 編からなっている。

昭和 50 年 4 月 10 日印刷　　昭和 50 年 4 月 15 日発行　　土木学会誌 第 60 巻 臨時増刊号
印刷者 大沼正吉　　印刷所 株式会社 技報堂 〒105 東京都港区赤坂 1—3—6
発行者 下村肇　　発行所 社団法人 土木学会 〒160 東京都新宿区四谷一丁目
定価 650 円（送料 50 円）　　振替 東京 16828 番　　電話 03(351) 5130(編集課直通)・4131(代表)

内容紹介

海水の交流と水質汚濁
——瀬戸内海を中心として——

岩垣雄一／樋口明生
中西　弘・土屋昭彦

土木学会誌 第60巻第4号（*Annual' 75*）
pp. 25～33
昭和50年4月（April, 1975）

昭和 49 年 10 月 9 日，広島工業大学において行われた 49 年度全国大会研究討論会の第 4 主題を当日の成果をふまえてとりまとめたものが本文である。近時，海岸等における海水の汚濁が急で，その保全がさけばれているが，本文は瀬戸内海に話題をしぼり，以下の 7 編でこの間の事情について述べている。「はじめに」「瀬戸内海の海水交流」「瀬戸内海の環境保全対策」「討議」「おわりに」の各編である。

地盤の変形と破壊解析の問題点

網干寿夫／山口柏樹
柴田　徹・中瀬明男

土木学会誌 第60巻第4号（*Annnal '75*）
pp. 35～42
昭和50年4月（Aprli, 1975）

昭和 49 年 10 月 9 日，広島工業大学において行われた 49 年度全国大会研究討論会の第 5 主題を当日の成果をふまえてとりまとめたものが本文である。地盤の支持力は，従来剛塑性体における極限平衡として論じられてきたのが，近時，土の安定特性の面からも考えられるようになってきている。そこで本文は「まえがき」「進行性破壊」「残留強度と残留係数」「粘土地盤の支持力とクリープ破壊」「安定解析における粘土地盤のせん断強度」「二層地盤の安定解析」「討論の概要」の 7 編でこの問題をとりまとめた。

トンネルの調査と掘削によって生ずる地表部への影響

町田冨士夫／川崎迪一・桜井三男
笹木　胖・田島利男・塚田　章
戸田隆志・三好迪男・山崎広宣

土木学会誌 第60巻第4号（*Annual '75*）
pp. 43～53
昭和50年4月（April, 1975）

昭和 49 年 10 月 9 日，広島工業大学において行われた 49 年度全国大会研究討論会の第 6 主題を成果をふまえてとりまとめたのが本文である。標題が示すとおり，調査段階のトラブルをどのように押えるかという点につき，次の 5 編にてこの間の話題をとりまとめたものである。すなわち「まえがき」「トンネル工事に伴う地表部への影響と対策」「地表沈下の分類と対策」「トンネルの調査」「むすび」の各編である。

内容紹介

省エネルギーと交通

安山信雄／広田孝夫・並木昭夫
中村英夫・定井喜明

土木学会誌 第60巻第4号（*Annual '75*）
pp. 55～64
昭和50年4月（April, 1975）

昭和 49 年 10 月 9 日，広島工業大学において行われた 49 年度全国大会研究討論会の第7主題を当日の成果をふまえてとりまとめたのが本文である。エネルギー危機に対応して，省エネルギーの面から交通体系のあるべき姿を探ろうとするもので，次の6編からなっている。すなわち「はじめに」「運輸部門におけるエネルギー節約の可能性」「省エネルギーの観点からみた都市交通」「省エネルギーと物資流動」「質問・討議」「おわりに」の各編である。

海洋コンクリート構造物

田中行男／赤塚雄三・河野通之
岡村　甫・桜井紀朗
遠藤武夫

土木学会誌 第60巻第4号（*Annual '75*）
pp. 65～72
昭和50年4月（April, 1975）

昭和 49 年 10 月 9 日，広島工業大学において行われた 49 年度全国大会研究討論会の第8主題を当日の成果をふまえてとりまとめたのが本文である。近時，本四架橋その他海洋域におけるコンクリートの利用が話題にのぼっているが，これらの話題に対し，次の7編構成で簡明にとりまとめている。すなわち「まえがき」「海洋構造物の展望」「海洋コンクリート構造物の設計施工上の問題点」「大規模な海洋コンクリート構造物の実施例」「巨大な海中コンクリートの施工実験」「海中コンクリート工事施工の海水への影響防止」「質疑応答」の各編である。

海　崖　侵　食

岩崎敏夫／豊島　修・堀川清司
大島洋志

土木学会誌 第60巻第4号（*Annual '75*）
pp. 73～84
昭和50年4月（April, 1975）

昭和 49 年 10 月 16 日，仙台市民会館小ホールで行われた第21回海岸工学講演会のシンポジウムの模様をとりまとめたのが本文である。四囲を海に囲まれたわが国ではあるが，海崖の諸件をとりまとめた資料が少ない点で本文は貴重である。「まえがき」「海崖侵食の現況」「海崖侵食の調査」「地学的立場から見た海崖の侵食パターン」「侵食対策工法とその問題点」「討議」「おわりに」の7編からなっている。